



薬剤部

～情報～

2024年9月・10月



9月の採用薬品

グリチロン配合錠

肝臓疾患・アレルギー用剤

株式会社ミノファーゲン製薬

【効】

○湿疹・皮膚炎、小児ストロフルス、円形脱毛症、口内炎

○慢性肝疾患における肝機能異常の改善

【用】通常、成人には1回2～3錠、小児には1錠を1日3回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



イオヘキソール300注シリンジ100mL「F」

非イオン性造影剤

富士製薬工業株式会社

【効】脳血管撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影、デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影

【用】【副】添付文書参照

※イオヘキソール300注シリンジ100mL「FF」が販売停止のため



9月の採用薬品（限定採用薬品）

リベルサス錠7mg

2型糖尿病治療剤

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

【効】2型糖尿病

【用】通常、成人には、セマグルチド（遺伝子組換え）として1日1回7mgを維持用量とし経口投与する。ただし、1日1回3mgから開始し、4週間以上投与した後、1日1回7mgに增量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日1回7mgを4週間以上投与しても効果不十分な場合には、1日1回14mgに增量することができる。

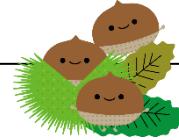
【副】添付文書参照



削除薬品

エスラックス静注25mg／2.5mL

トレリーフOD錠25mg



9月の採用薬品（限定採用薬品）

マンジャロ皮下注2.5mgアテオス、

マンジャロ皮下注 5mgアテオス

持続性GIP/GLP-1受容体作動薬

日本イーライリリー

【効】2型糖尿病

【用】通常、成人には、チルゼバチドとして週1回5mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回2.5mgから開始し、4週間投与した後、週1回5mgに增量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ增量できる。ただし、最大用量は週1回15mgまでとする。

【副】添付文書参照



2.5mgアテオス 5mgアテオス

ゾニサミドOD錠25mgTRE「SMPP」

パーキンソン病・レビー小体型認知症に伴うパーキンソンズム治療薬

住友ファーマプロモ株式会社

【効】【用】【副】添付文書参照



2.5mgアリナミンF糖衣錠

ビタミンB1誘導体

武田テバ薬品

【効】【用】【副】添付文書参照



ホスマシン錠500

ホスホマイシン系抗生物質

Meiji Seika Farma

【効】【用】【副】添付文書参照



レブロジル皮下注用25mg

赤血球成熟促進薬

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

【効】【用】【副】添付文書参照



院外採用薬品、特定個人薬品の区分名称の変更について

院内の採用区分の名称変更に合わせ、院外採用薬品、特定個人薬品は限定採用薬品に名称変更となりました。